

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[リイシュー/Historic Recording] はP4より

[DVD/GUITAR] PAL 方式

- *SOIG SIBERIL:La Guitare Celtique ¥2780
(PAL 方式 DVD の二枚組。ブルターニュを代表するケルティック・ギタリスト、Soig Siberil のケルティック・ギターの教則 DVD と Soig のギターの魅力をゲストを迎えた共演ライブ等多角的に紹介するライブ & ドキュメンタリー-DVD。Soig のギターの特徴と素晴らしさがつぶさにわかる。Coop Breizh)

[DVD/GUITAR]

※国内製 DVD プレーヤーで再生可能

- *MICHAEL MESSER:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしいスライド・ブルース・ギター奏者 M. Messer のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature"は Trevor Dann を話し相手に "Can't Be Satisfied" や "Walking Blues" など 8 曲を奏法に焦点を当てて演唱。"Additional Track"は完全ライブで "Rolling & Tumbling" や "The Lone Wolf" など 7 曲をクローズアップで演唱する。約 95 分。2006 作。Sound Technics)
- *STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしい S. Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスームアップで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- *GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 D
(美麗アコースティック・ギターの G. Giltrap。"Main Feature"では 8 曲をインデュを挟みながら、Gordon の音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダブルアコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。"Additional Track"には神業的名演奏が 9 曲 {こんな美しい "Here Comes The Sun" は聴いたことがない!} 収録。加えてエレキギター演奏のワークショップのおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面 NTSC でもう片面が PAL。2006 作。Sound Technics)
- *THE FOUR MARTINS:Guitar Nights ¥2980
(CD "Martins4" の DVD 版。Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達によるコンサート・ライブ。CD と同じ曲目で曲順の全 12 曲に 4 人のインデュ、Martin Taylor のギター・レッスン他。2003 作。P3 Music/ディスクの表が PAL all regions で裏が NTSC all regions)

(ギター・レッスン・ビデオ) NTSC

※国内製プレーヤーで再生可能

- *TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar Vol.2 D
(John Renbournが「Tony McManus is the best Celtic guitarist in the world」と言った今最高のケルティック・ギタリストT. McManusによるギター・レッスン・ビデオ。Vol. 1は94分。P40のタブ付楽譜付。Vol. 2は68分。P32のタブ付楽譜付。2000作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *DAVE VAN RONK:Folk, Blues&Ragtime D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *JOHN REID:Traditional Irish Fiddle Tunes For The Fingerpicking Guitarist(Texas Music and Video) D

[CD/GUITAR, BOUZOUKI 他]

- *IAN CARMICHAEL:Ten Years On C
(天才的アイリッシュ・バンジュー。Ian Carmichaelの演奏は職人芸的で、アイリッシュとスコティッシュと米国のオールドタイム・ミュージックの伝統的なリズムの特徴を追求・深化させることで、それぞれの音楽に新たな生命力と魅力とを生み出すことに成功している。バンジューの自由自在に弾ける音色と時折スライドして伸びる音色が新鮮で面白い。2015作。Splitrock Music)
- *SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene D
(ブルターニュのケルティック・ギタリストで、Kornog, GwerzのメンバーのSoig Siberilの2枚組編集CD。1993年から2012年までのソロやデュエットやグループの演奏が全29曲。ブルターニュのダンス音楽を独自のケルティックなギター音楽で演奏し、ブルターニュのトラッドの世界に新風を吹き込んだ。Tony McManus, Pierre Bensusanファン必聴。2013作。Coop Breizh)
- *RALF ILLENBERGER:Red Rock Journeys C
(アリゾナの「Red Rock」の山々の風景から生まれたギター音楽。彼のギターは妖精が踊るように？軽やか。ともするとこの手の音楽は過度に悠長になりがちだが、Ralfの演奏は細部に集中するようなリズム的な演奏で、曲が緻密で締まっている。ドラマティックな曲の展開はない。むしろ快いリズムの流れがキラキラと流れる印象なのだが、雲の流れや風の流れや風景の変化のようにも聞こえる。2011作。Stockfish)
- *ULLI BOGERSHAUSEN:Vinyl 81-86 B
(Ulli Bogershausenなるギター奏者の81、82、84、86年の4枚のアルバムからの20曲入りマスター編集CD。研ぎ澄まされた感性に裏打ちされた自作曲の一曲一曲はまた詩情豊かでもある。2007作。Laika)
- *DARREN MALONEY:Complicated A
(このアイリッシュ・バンジュー奏者のD. Maloneyの本作はそのユーモアの感覚に溢れた多様多彩な音楽にワクワクさせられる。アイリッシュをベースにした彼のガブリエティに富む音楽と人間味ある音楽は、最高に魅力的。彼のバンジューは良く踊る。w. Shane MacGowan, Joe Brennan, Eileen Gannon, Aiofe Cunningham, etc. 2011作。Darren Maloney)
- *ROBERT DOYLE:Life In Shadows A
(ダブリンのフィンガー・スタイルのギター奏者でシンガー、R. Doyleのデビュー作。

Pierre Bensusan の門下生という彼のギター弾き語りは一種独特の世界を創作。Bert&John をモデルとする彼独特な、深いところでアイリッシュ・スピリットがみなぎるフォークギター“ミュージックの世界を生み出している。2011 作。Robert Doyle Music)

*DAVY GRAHAM:From Monkhouse To Medway 1963 - 1973 A
(1963 年の音源からの 5 曲と 1973 年からの音源からの 21 曲の 16 トラック。
全曲未発表音源。2010 作。Hux)

*STEVIE DUNNE>About Time B
(副題“Traditional Musiv On Tenor Banjo”。ピクニック気分の音楽や上品そうでとぼけた感じの音楽やアコパティックなはや弾きで楽しませ躍らせる、かと思えば、今度はスマートな音楽で気分を爽やかにしてくれる。魔法の音楽。2010 作。Stevie Dunne)

*GORDON GILTRAP:Airwaves (2000 作。La Cooka Ratcha) C

*GORDON GILTRAP:Captured From A Point In Time B
(2006 作。トイ Hypertension)

*DAVID SURETTE:The Green Mandolin A
(20 年以上ニューイングランドのケルト音楽シーンで活動するマンドリン&ギター奏者のヨ。D. Surette のマンドリン&ギターによるアイリッシュを中心にした彼の演奏は職人技的な美しい演奏で魅了する。ふたつの楽器の音色の特性を生かしきった彼のアイリッシュは親しみやすいリズムやメロディの内にも優美さや気品を宿している。全 13 トラック。2009 作。Madrina Music)

*JEFF LANG:Half Seas Over A
(オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。2008 作。Furry)

*ALEC STONE SWEET:Tumblin' Gap a
(オールド・タイム・ミュージックとアイリッシュのギター演奏。アイリッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや“John Ryan's”等だが、アタックの強いクロハンマー・スタイルで弾くギターは強弱が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16 トラック。2005 作。Solid Air)

*LUCIO DAMASCELLI:Il Pieno e Il Vuoto C
(このイタリア人ギター奏者も素晴らしい。感性がやはりヨーロッパ的。気品があって優雅でロマンティック。ヨーロッパ的感性で純度高い華麗なギター音楽の世界を創造している。2006 作。Lucio Damascelli)

*MARTINS 4 A
(Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達による個性的ギター・ソロとギター饗宴{競演}集。2005 作。P3 Music)

*DESSIE KELLIHER:Banjoed C
(多彩なリズム飛び交う楽しいパングョーによるアイリッシュ。様々なダンス曲を驚異のテックで楽しませる。w. Mike McGoldrick, Peter Browne, Tony Byrne, Gary O'Brien, Pdraig O Se, Colin Farrell, etc. 2004 作。Dessie Kelliher)

[リイシュー/Historic Recording]

(CD/U. S. A.)

- *STEVE YOUNG:Seven Bridges Road "Complete Recordings" A
(7/8 入荷予定。1972 年の名盤"Seven Bridges Road"はこれまでに三度リリース。本作は"Seven Bridges Road"がらみのシングル盤の音源や様々な音源を集めた"Seven Bridges Road"完全盤で全 21 曲。2017 作。Ace)
- *DARDEN SMITH:Darden Smith/Trouble No More A
(7/8 入荷予定。1988 年の"Darden Smith"と 1990 年の"Trouble No More"の"2 in 1"。1988 年&1990 年/2017 作。Floating World)
- *TRACY NELSON:Poor Mans Paradise A
(7/8 入荷予定。1973 年の Tracy Nelson & Mother Earth のスワンプの名盤。Eric Justin Kaz 作"Cruel Wind"ほか全 9 曲。
w. Mac Gayden, Jerry Carrigan, Randy Scruggs, Anita Ball {ハッキング・ヴォーカル}, Sadie Cantrell {ハッキング・ヴォーカル}, etc. 1973 年/2017 作。Floating World)
- *HOYT AXTON:My Griffin Is Gone A
(7/8 入荷予定。昔よく聴きました。Gene Clark の"White Light"と並べて語られることが多かった Hoyt Axton の 1969 年の名盤。
w. James Burton, David Cohen, Jim Gordon, Larry Knechtel, etc. /2017 作。Floating World)
- *CARP:Carp C
(ご存じ「ブラックホークの 99 選」にも選出された Gary Busey, Ron Getman, John Crowder, Glen Mitchell の四人組"Carp"の唯一の愛すべきアルバム。共同プロデューサーの Daniel Moore の音楽志向がばっちり繁栄された LA スワンプ〜カントリー・ロック。1966 年にオクラホマ州大学時代に結成された彼らだが、今改めて聴いても、ドラムス、ベース、エレキギター、ピアノの演奏はしっかりメリハリがあって土臭く、確かなロックを体現し、ヴォーカル&ハーモニーは西海岸ロック志向の若者らしいヒューマンな味わいを高めている。奇跡&輝石の名盤。ゲスト:Sneaky Pete。1970 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *ALLMAN BROTHERS BAND AND THE GREGG ALLMAN BAND
:Unplugged B
(1987 年の Allman Brothers Band 名義だが、Greg Allman のヴォーカルをフィーチャーした Greg のソロ・ライブ 4 曲と 1980 年の Gregg Allman Band によるライブ 9 曲の 13 曲収録ライブ盤。何と言っても"Midnight Rider"や"Melissa"などの前半のソロの 4 曲は、シンガーとしての Gregg の持ち味がよくにじみ出ている、感動的。そして、今度は打って変わって、フル・バンドによる後半の 9 曲は、Gregg のヴォーカルもバンドのロックもアブラののった南部ロックを体現していて、圧巻。Gregg Allman のシンガーとしての味わいに舌鼓を打ち、Allman Brothers Band 直系の堂々たる南部ロックに体が熱くなる贅沢なライブ。観客も熱い。1980 年/2017 作。Predator)
- *EDDIE MOTTAU:No Turning Around C

(Eddie Mottau の 1973 年の奇跡のデビュー作。PPM の Paul Stookey がプロデュースを手がけて誕生した本作は、唄が渾身な上に、当
時も今もほとんど無名のミュージシャン達のバックアップによ
る演奏は、一途にダウン・トゥー・アースで、当時の最良のロス産
スワンプ風なスワンプっぽいアメリカン・ロックを体現していて、
南部系 SSW アルバムとして、充実しきっている。いくらほめちぎっ
ても、ほめちぎり足りない。1973 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

*NEIL YOUNG:Bottom Line 1974

B

(Neil Young の 1974 年の名作“On The Beach”リリース後最初に行
ったコンサートのライヴ盤。“On the Beach”収録の 8 曲中 5 曲を含
む本ライヴ盤は、全曲ギターの弾き語り効果もあって、“On The
Beach”のムードを保ったアルバムになっている。Neil Young の
“Greesleaves”が聴けるのは、本作だけかも。全 13 曲。1974/2017
作。Gold Fish)

*KRIS KRISTOFFERSON:The Austin Sessions

A

(1999 年に Atlantic からリリースされた“The Austin Sessions”
[収録が始まったのは 1997 年]が二曲の未発表曲を加え、新たな装
丁と解説付で発売された。Jackson Browne, Steve Earle, Matraca
Berg, Vince Gill, Alison Krauss, Catie Curtis, Mark Knopfler
などのゲスト・シンガーとの共演でも話題だが、Steve Bruton,
Larry Paxton, Mike Baird, John Willis, Jim Cox などの精鋭で固
めた土臭いルーツロックは、気合い充実の Kris のヴォーカルと絡
み合っていて圧巻。全 14 曲。1999/2017 作。Rhino)

*DERROLL ADAMS:Feelin' Fine

B

(英国の Village Thing から 1972 年にリリースされた“Feelin’
Fine”がベルギーの Best Seller から 1976 年にリリースされた
“Along The Way”から 6 曲のボーナス曲付で、めでたく CD 再発され
た。“Feelin’ Fine”の共演者は Wizz Jones, Danny Adams, Roland
Van Campenhout で、“Along The Way”は Maggie Holland, Tucker
Zimmerman, Youra Marcus, Danny Adams。バンジョーを爪弾きなが
らうたう低く柔らかな唄の数々は、小気味よく弾むバンジョーを
伴って、心にふんわりと残る。全 18 曲。2017 作。Ghost From The
Basement)

*DOUG SAHM & HIS BAND:1973 Live Paul's Mall, Boston MA A

A

(Bob Dylan, Dr. John, Flaco Jimenez, David Bromberg, Kenny
Kosek 等がゲスト参加して制作された“Doug Sahn & Band”{1973
作}リリースの二ヶ月後に行った FM ラジオ放送用ライヴ音源の CD
化。Sir Douglas Quintet の活動を通じて完成させた Sir Douglas
流テックスメックス・ロック以前のカントリー、ブルース、テキサ
ス・スウィングをまぜこぜにしてロックした Doug Sahn らしさプ
ンブンの泥臭いロック。若き Doug Sahn、すべてが輝いている。1973
年/2016 作。Rox Vox)

*THOMAS JEFFERSON KAYE:Thomas Jefferson Kaye

C

(Bob Neuwirth や Gene Clark のプロデューサーでもあった SSW の
Thomas Jefferson Kaye のファースト・ソロ。元々スワンプ志向の
音楽性を持つ Thomas がカリフォルニアに移って制作した西海岸

- 産スワンプ風ロック。Donald Fagen や Walter Becker や Rick Derringer に加えて、女性スワンプ・シンガー隊の Clydie King, Venetta Fields 他のもでも起用したロックは、「スワンプ志向」で結集していて、完璧。1973 年/2016 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *ORPHAN: Everyone Lives To Sing C
(ちよくちよく Jonathan Edwards と共演していた Orphan {Eric Lilljequist {ヴォーカル、ギター} と Dean Adrien {ヴォーカル、パーカッション} のデュオのバンド} の 1972 年の一枚目。一曲目の "Easy Now" は Aztec Two Step、或いは Batdorf & Rodney の清々しいデュエットを想起させもするが、人なつっこそうな優しさは当時の Jonathan Edwards の唄にも通じるヒューマンな味わい。ゲスト: Jonathan Edwards。1972 年/2016 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *GRAHAM NASH: Songs For Beginners A
(便宜上 USA にて。名盤。1971 年。Atlantic)
- *RICHARD SUPA: Supa's Jumboree C
(スワンプの名盤。1971 年/2016 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *JOHN PRINE: Bottom Line ¥2690
(二枚組ライヴ。1978 年、ニューヨークのボトムラインでのライヴ。FM ラジオの音源から全 30 曲。"Pink Cadillac" 収録のメンバー {John Burns, Howard Levy, Tom Pickarske, Angelo Varias} がバックアップ。1978/2015 作。All Access)
- *LEE CLAYTON: Live At Rockpalast D
(CD+DVDセット。Lee Clayton Band ~ Lee Clayton {ヴォーカル、ギター、ハーモニカ}, Philip Donnelly {ギター}, Colin Cameron {ベース}, Tony Newman {ドラムス} ~ の 1980 年、ドイツのテレビ番組のショー向けスタジオでのライヴ。CD は DVD のオーディオ版。全 15 曲。1980/2014 作。Repertoire)
- *JERRY CORBITT: Corbitt C
(Youngbloods の Jerry Corbitt の 1969 年の一枚目。本作を聴くと Youngbloods のメンバーの中で、最もアメリカン・ルーツ志向のアーティストだったことがわかる。時はサイケデリック・ロック華やかなりし時代、Jerry は時代の潮流に流されず、既に、後の SSW のようにブルースやカントリーに立脚した音楽を、やや荒っぽくはあるが、堂々と体現している。Youngbloods は Jesse Colin Young と Jerry Corbitt の二人組でスタートしたバンドだが、音楽創りは Jerry の手腕によっていたであろうことが、この Jerry の大風呂敷なアメリカン・ルーツロックなアルバムから推測できる。音楽は Jesse とは对象的に泥臭く、パワフルだ。Produced by Charlie Daniels。1969 年/2015 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *JESSE WINCHESTER: Seems Like Only Yesterday B
(副題 "Live In Montreal 1976"。FM ラジオ収録の Jesse Winchester {1944-2014} の 1976 年のコンサート・ライヴ。全 18 トラック。J. Winchester の最も充実していた時代のふくよかなライヴ。1976/2015 作。Real Gone Music)
- *ROHRBACKER, HENDREN & KINGEN
: Rohbacker, Hendren & Kingen C

(1974年に自主制作で500枚発売されたというオレゴンの三人組フォーク・ロック・バンド。これは面白い。Byrdsのカントリーな部分を排除したややサイケデリックな時代感覚を持ったフォーク・ロックで、トリオ編成ながら、エレキギター、ドラムス、ベースの組み合わせによるは、軽快にロックしていて快感だし、ソフとで柔らかな個性で、SSWとしても魅力のある Roy Rohrbacker のヴォーカルと、そしてトリオによるソフとなハーモニーは、中々魅力的。あの時代に米国の北西の端っこで、時代の波を受けて、しこしこ俺たち流の優しいロックを創っていたヒューマンなロック・バンドがいたんだね。Floating House Bandを思い出した。1974年/2014作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- *BILL STAINES:Somebody Blue C
(1967年、Bill Stainesが二十歳の時にリリースした二枚目。全曲ギターの弾き語り{セカンド・ギター:Ken Girard}の本作は、この次のアルバムが1975年作の“Miles”と言われても、何も疑わない聴き親しんだ Bill Stainesの風薫るような唄そのまま。唄は素直で素朴で、曲調は風や水の流れのよう。その昔、“Miles”を聴いた時の感動が蘇った。それにしても昔の二十歳は老けていた…。1967年/2009作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *J. J. CALE:Really(1972作。カナダ Mercury) a
- *J. J. CALE:Grasshopper(1982作。カナダ Mercury) a
- *RY COODER:Chicken Skin Music(1976作。カナダ Warner) a
- *BILL STAINES:The First Million Miles Vol 2 A
(19曲収録編集 CD。1998作。Rounder)
- *ELVIN BISHOP:Let It Flow(1974作。PolyGram/Capricorn) B
- *PETE SEEGER:Rainbow Race B
(本作は誰もが知るアメリカン・フォーク・シンガーの Pete Seeger の 1973年のアルバム。反戦歌を含む本作は社会派のフォーク・シンガーとして、柔軟で力のある唄を聞かせていて、素晴らしい。唄は真っ直ぐに人の心へと向かっている。そんな中、ラスト曲“Hobo’s Lullaby”はことのほか心に沁みる。伴奏はギターとバンジョーとベース。唄に人を動かす力があつた時代の音楽。1973/2014作。Talking Elephan)
- *THE BAND:Live At The Academy Of Music 1971 ¥7800
(副題“The Rock Of Ages Concerts”。4枚組 CD+DVD のセット。ディスク1とディスク2が“Live At The Academy Of Music 1971”の音源からの計29曲{その内、Bob Dylanとの共演が4曲}、ディスク3とディスク4が“New Year’s Eve At The Academy Of Music 1971”の音源からの計27曲{その内、Bob Dylanとの共演が4曲}。DVDはその中からライブ映像25曲+“Archival Film Clips - December 30, 1971”から2曲。19曲が未発表音源。解説:Robbie Robertson。縦横各約25センチ、厚み1.5センチのハードカバー・ブック型ケース。一家に一セット。2013作。Capitol)
- *JOHN SEBASTIAN:Tar Beach D
(John B. Sebastian の 1992年のアルバム。Shanachie)
- *GREG DOUGLASS:Maelstrom B
(開封。w. Norton Buffalo, Steve Douglass, Nick Gravenites, Doug Harman, Peter Rowan。ブックレットにパンチ穴有り。1993作。Taxim)
- *ERIK DARLING:Child, Child B

- (開封。バーストにパンチ穴有り。2000 作。Wind River)
- *BOB DYLAN:Folk Singer – Humdinger
 “Just About As Good As It Gets!” C
 (2 枚組 CD。1961～1962 年録音の全 44 曲。数えてみたら、ラジオや教会等でのライブ曲が 32 曲収録。Dylan のデビュー時の唄がスタジオ録音とライブで楽しめる。2012 作。Smith&Co)
- *THE BURRITO BROTHERS
 :Back To The Sweetheart Of The Rodeo D
 (2 枚組。1990 作。Appaloosa)
- *RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND
 :Still On Our Feet a
 (72 年作の再発盤で Randy Burns がライブ会場で手売りで売っているサイン入りスリム・ケースの CD-R。バンド編成の本作は春を迎えた鳥達のように潑刺として爽快。最高の一枚。全 12 曲。Wildcat)
- *RANDY BURNS:Live At Jocko’s a
 (1976 年のヴァレンタインに行われたギター弾き語りライブ。全 16 曲。自作の 3 曲に加え、Eric Anderson 作 2 曲“The Girl I Love”と“More Often Than Not”や David Blue 作や Tom Ghent 作や Tom Paxton 作等の時代の唄、加えてトラッドの名曲 2 曲“Wild Mountain Thyme”と“Oh Shenandoah”等、R. Burns ならではの世界が創出されている。SSWファンの宝物。R. Burns のサイン入り。音質は通常 CD と同レベル。スリム・ケースの CD-R。2011 作。WildCat)
- *RANDY BURNS:The Exit & Gaslight Years 1965–1969 a
 (二枚目“Evening Of The Magician”{68 作}から 7 曲、三枚目“Song For An Uncertain Lady”{70 作}から 5 曲と未発表音源から 1 曲の計 13 曲収録編集盤。ひっそりと自分の世界に酔ううつろな R. Burns の唄の世界。心はあの時代。CD-R。自主制作)
- *RANDY BURNS:Evening Of The Magician a
 (1968 年作で、ボクの心の中では、Eric Andersen の“Blue River”とイメージが重なる SSWアルバム静かなる名盤。未発表曲 1 曲を含む 11 曲。68 作。CD-R。ESP)
- *THE BEST OF RANDY BURNS & THE SKYDOG BAND a
 (70 年代初めの“Skydog Band”をバックにしたフォーク・ロック時代の R. Burns の 17 曲収録のベスト盤。傷つきそうなくらい感受性豊かで内省的な唄の世界。CD-R。自主制作)
- *TOWNES VAN ZANDT:Live At McCabe’s A
 (1995 年 McCabe’s のライブ。1996 作。Varese Sarabande)
- *CASEY KELLY:Casey Kelly a
 (C. Kelly の 1 枚目。バックは Leland Sklar, Russell Kunkell, Craig Doerge。そして Sneaky Pete, Jim Messina, Al Garth 等がゲスト。プロデュースは当時 Poco のプロデューサーだった Richard Sanford Orshoff。CD-R。It’sAboutMusic.com)
- *INTERNATIONAL SUBMARINE BAND AND JON CORNEAL
 :Back At Home & Jon Corneal And The Orange Blossom Special a
 (2000 年作の再結成 ISB の“Back At Home”{ボーナス曲 2 曲を含む 12 曲}

と ISB の Jon Corneal と彼のバンドの 1974 年のアルバム“2 in 1”。
2011 作。ドイツSPV)

- *JANIS JOPLIN:X2 A
 (“Cheap Thrills”, “Pearl”の 2 枚のアルバムの 2 枚組セット。2000 作。
Columbia)
- *STEVE GILLETT:Steve Gillett ¥2500
(ケース破損につきケース交換。1967 作。Vanguard)
- *FRANK CHRISTIAN:From My Hand(1995 作。Palmetto) ¥2980
- *VINCE BELL:Phoenix(1994 作。Watermelon) ¥2980
- *BOB DYLAN:The Bootleg Series Vol.6 “Live 1964” ¥2980
(1964 年ニューヨークの Philharmonic Hall での 2 枚組ライブ。全 19 曲。内 4
曲は Joan Baez とのデュエット。問題作“Bringing It All Back Home”
発表のちょい前のギター弾き語りライブ。2004 作。Columbia)
- *BOB DYLAN:The Freewheelin’ (63 作。Columbia) ¥1280
- *SWAMPWATER:Reunion A
(1979 年、再結成時収録された音源からの全 14 曲。メンバーは Gib
Guilbeau, John Beland, Thad Maxwell, Micky McGee。カントリー・ロックの
旨みたっぷり。カントリー・ロック・ファン至福保証。本作は Larry Murray に捧
げられている。イタリAkarma)
- *DELANEY&BONNIE & FRIENDS:On Tour (1970 年作。Atco) a
- *JIM GROCE:Bad, Bad Leroy Brown & Other Favorites a
(タイトル曲他全 10 曲。カナダ EMI)
- *THE YOUNGBLOODS:Euphoria 1965-1969(全 25 曲。99 作。Raven) a
- *GENE CLARK:American Dreamer 1964-1974(92 作。Raven) a
- *LINDA RONSTADT:Don’t Cry Now ¥1250
(1973 年作。Produced by Peter Asher, w. Glenn Frey, Buddy Emmons,
Herb Pederson, Sneaky Pete Kleinow, Jimmie Fadden 他。73/2010
作。Rhino)
- *ARLO GUTHRIE:Alice’s Restaurant (Rising Son) A
- *JESSE WINCHESTER:Jesse Winchester (70 作。Stony Plain) B
- *WARREN ZEVON:Preludes B
(Disc 1 が未発表音源から 16 曲収録、Disc 2 が 99 年の Austin City
Limitsスタジオでのライブ 3 曲とインディーズ 5 つを収録の 2 枚組。2007 作。
New West)
- *TOM RUSH:Take A Little Walk With Me A
(66 作。Collectors’ Choice)
- *TIM HARDIN:2 B
(67 年作がオリジナル・アート・ワークの紙ジャケット [デジパック] にて CD 再発。誰も
が認める Tim のベスト。“If I Were a Carpenter”, “Red Balloon”,
“Lady Came From Baltimore”, “Tribute To Hank Williams”他。
67/2006 作。Lilith)
- *JAMES TAYLOR:Best Live a
(“Sweet Baby James”で幕開けし、“That Lonesome Road”のアカペラで
幕を閉じる 17 曲入ライブ。アコースティックなからポップなものまで全て彼ら
しいライブ。93 作。Columbia)
- *TERRY MELCHER:Terry Melcher (74 作。Collector’s Choice) A

- *CHRIS HILLMAN:Slippin' Away(Wounded Bird) A
- *FIREFALL:Break Of Dawn/Mirror Of The World A
(最高のカントリー・ロック・バンドの“Break Of Dawn”と“Mirror Of The World”の“2 on 1”。82/83/2004 作。Wounded Bird)
- *THE ELVIN BISHOP GROUP
:Party Till The Cows Come Home B
(デビュー作{69 作}、“Feel It”{70 作}、“Rock My Soul”{72 作}の3枚にライヴ音源2曲を含むボーナス曲3曲付計30曲入2枚組CD。69/70/72/2004 作。イギリスAcadia)
- *JEFFERSON AIRPLANE:After Bathing At Baxter's a
(元 Jefferson フリーの私メが欲しくて仕入れ。全て67年録音未発表のボーナス曲4曲付でCD化。67/2003 作。BMG)
- *LEON REDBONE:Red To Blue(87 作。August/Rounder) ¥1280
- *LEON REDBONE:Whistling In The Wind ¥1280
(88 作。August/Rounder)
- *LEON REDBONE:No Regrets(88 作。August/Rounder) ¥1280
- *EMMYLOU HARRIS:Luxury Liner ¥1280
(未発表音源2曲ボーナス曲入。名盤。76/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Quarter Moon In A Ten Cent Town ¥1280
(未発表音源2曲ボーナス曲入。名盤。78/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Blue Kentucky Girl ¥1280
(未発表音源2曲ボーナス曲入。名盤。79/2004 作。Warner)
- *DAVE MASON&CASS ELLIOTT ¥1980
(71 作。ピクチャー・エンターテインメント)
- *THE BAND:Stage Fright(リマスター。4曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *THE BAND:Islands(リマスター。2曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *SIR DOUGLAS QUINTET:Is Back A
- *JACK ELLIOTT:Ramblin' Jack(24曲入編集CD。95 作。Topic) A
- *JOHN PRINE:German Afternoons(Oh Boy) a

(CD/U. S. A. [国内盤])

- *DON NIX:In God We Trust(Vivid) ¥2800
- *JIM PULTE:Out The Window+Shimmy She Roll, Shimmy She Shake(一枚目と二枚目の2in1。Vivid) ¥2800
- *FRED NEIL:Bleecker & Macdougall(Warner) A

(CD/CANADA)

- *JOEY GREGORASH:Tell The People C
(1973 年発売の二枚目も一枚目同様メフィスのスタックス。Joey は黒人シンガーのようにうたいたかったのだろう。本作ではソウルフルに熱唱するタイプの唄が目立っていて、唄に熱気が出ている。ただし、彼の唄からは黒っぽさはさほど感じられない。彼のシンガーとしての資質の問題だろう。心は「黒人シンガー」でも生まれた唄は、やや熱唱型のヴォーカル中心の王道的ロック。本作で Neil Young の“Down By The River”を再演している。当時の空気が充満していて、音全体が熱く、そして懐かしい。1973 年/2014 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- *JOEY GREGORASH:North Country Funk C
 (オリジナルLPは1971年にポリグラムから発売されたというのだが、SSWのJ. Gregorashの一枚目。録音はメンフィスのスタックス。スタックスだが、スワップの印象は薄い。むしろブルース・ロック〜フォーク・ロックの印象が強い。それでもやはりスタックス印のロックは、骨太で底力がある。JoeyのChristopher Kearneyくらいがしっと骨太なヴォーカルは、当時としては米国南部音楽の最前線のパワーのあるロックを得て、最高にノリノリ。二曲目で同郷のNeil Youngの“Down By The River”をやっている。
 1971年/2014作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- *LEONARD COHEN:X2 A
 (“Songs Of Leonard Cohen”, “Songs Of Love And Hate”の2枚のアルバム)の2枚組セット。2003作。Columbia)
- *WILLIE P. BENNETT:Tryin' To Start Out Clean ¥2600
 (1975作。紙ジャケット。エア・メール・レコーディングス)
- *WILLIE P. BENNETT:Blackie And The Rodeo King D
 (1978作。Bnature Music)
- *RICK DANKO:Live at Uncle Willy's a
 (1989年、ニューヨークのUncle Willy's Kingstonでのギター弾き語りライブ。全12曲。2011作。Floating World)
- *RICK DANKO:Live At The Tin Angel a
 (2枚組。全27曲。1999年1月15日、フィラデルフィアのTin AngelでのR. Danko [この年の12月10日他界]のライブ。享年56歳。2011作。Retro World)
- *RICK DANKO
 :At Dylan's Cafe Washington DC December 8, 1987 a
 (2枚組。Rick Dankoの何とギターの弾き語りの全43曲。深夜、しみじみと聴くのがいい。2009作。Voiceprint)
- *RAY MATERICK:Life And Times ¥1500
 (Ray Materickの70年代の音源からの2枚組編集CD。全24曲収録。SSWファンの宝物。2003作。Linus)
- *JONI MITCHELL:Ladies Of The Canyon a
 (リマスター。“Woodstock”, “The Circle Game”を含む12曲。70作。Warner)
- *BRUCE COCKBURN:Sunwheel Dance A
 (リマスター。2曲ボーナス・トラック付。71作。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Circles In The Stream A
 (リマスター。“2 on 1”。全17曲。77作。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Stealing Fire A
 (“Deluxe Edition”。リマスター。2曲ボーナス・トラック付。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Live(リマスター。True North) A
- *KATE&ANNA McGARRIGLE:Love Over And Over ¥2090
 (w. Jane McGarrigle, Gerry Conway, Pat Donaldson, Alun Davies, Mark Knopfler, Paul Samwell-Smith, etc. 82作。PolyGram)
- *KATE&ANNA McGARRIGLE:Matapedia(96作。Hannibal) A
- *GORDON LIGHTFOOT:Sunday Concert Live ¥950
 (69年のトロントでのライブ。全11曲。EMI)

(LP/B R I T I S H F O L K)

- *NICK DRAKE:Five Leaves Left(69 作。Island) D
 *NICK DRAKE:Pink Moon(72 作。Island) D

(CD/BRITAIN&IRELAND他)

- *IAIN MATTHEWS:Live At Rockpalast ¥2990
 (1983 年のドイツでのライブ DVD {国内製 DVD プレイヤーで再生可能} とライブ CD とライブと同じ曲のスタジオ録音音源の CD の 3 枚組。各 3 枚とも 17 曲収録で、曲順も同じ。個人的な趣味では、この時代のイアン・マッシュューズは興味なしの時代。今になって聴くロック・バンドを従えてロックするイアン・マッシュューズのロックのノリノリなこと！バンドのロックは緩みがないというか、緊張感あるタイトなロックで、イアン・マッシュューズのヴォーカルも終始テンションが高い。まだ見ぬピークを目指した時代の上り調子の熱いロック。Neil Young の“Mr. Soul”なんか滅茶苦茶かっこいい。DVD を見た後ライブ盤とスタジオ録音盤とを聴き比べるのも面白い。1983 年/2016 作。MIG)
- *STORYTELLER:More Pages C
 (1971 年に Transatlantic よりリリースされたブリティッシュ・フォーク・グループの Storyteller の二枚目でラスト・アルバム“More Pages”が紙ジャケットで CD 再発された。時代まっただ中の音楽ですね。Fairport や Mellow Candle や Trees などの音楽の流れで語られることの多い彼らの音楽だが、ぼくの耳には Incredible Strings Band や後の Merry Band の音楽性に近いように聞こえる。男女のヴォーカルだが、詩人として著名な Terry Durham のヴォーカルは Robin Williamson の資質に近いし、演劇的な音楽性も近い。また Ray Davies や Alan Hull 風だったりもする。翌年 Phillip Goodhand-Tait の“Songfall”にも参加する Caroline Attard 嬢の透明感あるヴォーカルもこの時代のブリティッシュ・フォークを象徴する薩摩切子のような？ヴォーカルで魅力いっぱい。1971 年/2017 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)。
- *ALLAN TAYLOR:Behind The Mix C
 (2000 年作“Colour To The Moon”の限定ボックス版 {廃盤} のボーナス CD“Behind The Mix”が CD 再発された。録音は 2000 年。前半の数曲が Allan Taylor のソロで、残りが Allan Taylor&Derroll Adams のデュオ曲という構成。一曲目の“Nadine”のみ、A. Taylor にしては珍しくロックっぽい曲で、二曲目からはいつものリラックスマードの A. Taylor の唄と仲の良い A. Taylor&D. Adams の唄と思い出話が続く。全体的な印象は、“Colour To The Moon”収録直前に亡くなった Derroll Adams {1925-2000} の追悼盤の印象。気心を知った二人の息の合った演唱に驚かされ、心和む。ボーナス CD ならではというか、1974 年録音の Alex Campbell のギター弾き語りによる Dylan の“When I Paint My Masterpiece”なども収録されている。w. Chris Jones, Grischka Zepf。全 15 トラック。P22 のブックレットでは思い出の写真も拝める。2000 年/2017 作。Stockfisch)
- *CAROL GRIMES:Warm Blood C

(Grease Band っぽい南部ロック・サウンドの一曲目でぶっ飛んだ英国の女性シンガーの Carol Grimes の 1974 年作。米国ナッシュビルと英国ロンドンで録音された本作は、一曲一曲趣向の異なる大風呂敷な南部ロック～スワンプ風の女性 SSW アルバムといった印象で、泥臭いロックの中、Carol は一曲一曲をシャウトする。同じ 1974 年に“Insane Asylum”というスワンプ系アルバムでソロ・デビューした Kathi McDonald を思い出した。w. Ron Cornelius, Kenny Buttrey, Tommy Cogbill, Mac Gayden, Karl Himmel, Jess Roden, Graham Bell 他。Produced by Bob Potter。1974 年/2017 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)

- *BERT JANSCH:Living In The Shadow ¥6550
("The Ornament Tree" {1990 年}, "When The Circus Comes To Town" {1995 年}, "Toy Balloon" {1998 年})に、Bert Jansch の個人的なテープから未発表音源からの曲 14 曲を収録した"Picking Up The Leaves"の四枚組{すべてリマスター}。John Renbourn との共演曲二曲{笑い声も}を含む"Picking Up The Leaves"は、何とも懐かしいというか、Bert Jansch が最も輝いていた頃の音楽ばかりで、Bert Jansch スタイルのブリティッシュ・フォークに酔ってしまう。どれもが感涙。ハードカバー CD ブック型の豪華な装丁で解説は Colin Harper。2016 作。Earth)
- *BARBARA DICKSON
:From The Beggars Mantle...Fringed With Gold A
(1970 年/2002 作。CD-R 版。レコード会社自家製でジャケット品質二流。Phonograph)
- *BOB PEGG & CAROLE PEGG:He Came From The Mountain C
(Mr Fox の Bob & Carole Pegg が Mr Fox とは別に 71 年に発表したブリティッシュ・フォークの名盤。Bob Pegg の英国調の品のある節回しが特徴的なヴォーカルと Carole Pegg の花のつぼみのような清々しいヴォーカルのバランスというか妙というか綾がが素晴らしい。Produced by Bill Leader。Mike Lavelle, Nick Strutt, Barry Lyons, Pete Wagstaff, etc. 1971 年/2016 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink))
- *PHILLIP GOODHAND-TAIT & THE STORMSVILLE SHAKERS
:Ricky-Tick...40 Years On C
(Phillip Goodhand-Tait & the Stormsville Shakers' 時代 {1965-1966} の 10 曲。2005 作。Span TV)
- *GOTHIC HORIZON:The Jason Lodge Poetry Book C
(Andy Desmond&Richard Garrett のデュオ、Gothic Horizon の 71 年作。夢心地な美しきブリティッシュ・フォーク。田園志向というか、自然が身近で水清く心清い清々しい音楽。2002 再発。Hugo-Montes)
- *JACK THE LAD:The Old Straight Track(1974/2005 作。EMI) D
- *MICK SOFTLY:Songs For Swingin' Survivors B
(M. Softly の 65 年作の枚目。65/2003 作。Hux)
- *GAY & TERRY WOODS:Backwoods A
(Gay&Terry の 1975 年の一枚目。1975 年/2002 作。Hugo-Montes)
- *JAKE WALTON:Songs From The Gurdy-man C

(Jake Walton&Jez Lowe の"Two A Roue" {1986 年} から 6トラック
と Jake Walton の"Sunlight And Shade" {1982 年} から 8トラック
の計 14 トラック収録の編集盤。Wundertute)

*RAB NOAKES:Red Pump Special 40th Anniversary Edition B
(70 年代 SSW の名盤"Red Pump Special"が本人のレーベルから四曲のボ
ーナストラック付きの全 14 曲、デジタル・リマスターにて発売。プロデューサーの
Elliot Mazer は「Lindisfarne と Rab Noakes のライヴを観に行った。
驚嘆すべき、独特なメロディの曲を書き、歌詞がとっても面白かつ
た」とこの記念盤のブックレットの思い出話の中で述べている。Tommy
Cogbill, Kenneth Buttrey, Weldon Myrick, Teddy Irwin, John
Harris 等のナッシュビル生え抜きのスタメンに加えて、Memphis Horns も参
加して制作された本作が悪かろう筈がない。ボーナ曲四曲は一曲
はリテイク・ヴァージョンっぽくて、一曲は飄々。残りの二曲は別テイク版。実際
飄々とも聞こえる。1973/2013 作。Neon)

*FAMOUS JUG BAND:O For Summer B
(2000 年録音の Famous Jug Band 再結成盤。全 16 曲。2001 作。Market
Square)

*LINDISFARNE:Buried Treasures Vol.3 B
(副題"Rare and unreleased 1969-2000。全 17 曲。2000 作。Siren
Music)

*NICHOLAS RODNEY DRAKE:Time Has Told Me Volume Two ¥2850
(Nick Drake のテープ録音等 1967 年 1 曲、1968 年 6 曲、1968 年 9 曲、1974 年
1 曲の全 17 トラック。2006 作。Schoolkids)

*ERIC CLAPTON:461 Ocean Boulevard (1974 年。Polygram)¥1000

*YOUNG TRADITION:Oberlin 1968 A
(Young Tradition {Peter Bellamy, Royston Wood, Heather Wood} の
1968 年 11 月 17 日、米国の Oberlin College で行われたライヴ。イング
ランドのトラッド・ファンなら冷静には聴けない見事なアカペラによるトラッド・シ
ンギング・アルバム。三人のシンギングは極めてスティック。そのスティックさが音楽
的にイングランド的気品を生み、伝統歌の質をピュアに高めている。
Peter Bellamy のシンギングのみならず、Royston も Heather もオーラを放
つほどに見事なシンギングを高く貫いている。滅茶苦茶素晴らしい。
アカペラによるイングランドのトラッド・シンギングの原点であり、一つの理想
型。全 25 曲。1968/2013 作。Fledg'ling)

*MANDY MORTON BAND:Valley Of Light D
(Mandy Morton&Spriguns の Mandy Morton の Mandy Morton Band の
唯一のアルバム。1983 年作。バンド・メンバーは Simon Wheeler Hunt, Sean
Boucousis, Dominic Green, Gaynor Griffith, David Griffith。
独自のブリティッシュ・フォークの世界を創作しようという意欲が表出した
ブリティッシュ・フォーク。1983/1995 作。English Garden)

*TOM YATES:Love Comes Well Armed A
(Tom Yates {1944-1993} は David Bowie とロンドン・フラットで一緒に、
Paul Simon の紹介でアルバム・デビューをしたという。本作は 1973 年に
President というレーベルから発売された Tom Yates の二枚目。B. J.
Cole や Duncan Browne がバックを務めていて、一種独特な浮遊感のある
世界は John Martyn の世界にも通じるが、T. Yates の方がフォークっ

- ぼい。1973/2013 作。Epona)
- *SHIRLEY & DOLLY COLLINS:For As Many Will ¥2666
 (Shirley&Dolly の 1978 年作。クリンク・レコードより国内盤発売。解説: 船津潔。解説は、「シャーリー&ドリー・コリンズの歩み」、
 「『フォー・アズ・メニー・アズ・ウィル』はシャーリー&ドリーの終着点」そして「曲目について」という構成。78/2012 年。クリソカ)
- *MARY JANE:Tacit B
 (70 年代ブリティッシュ・フォークの麗しさを追い求める Mary Jane の 3 枚目はライヴ・セッション。Fairport, Steeleye, Trader Horn, Trees のフレグアアがお好みの方は必聴。“Matty Globes”そっくりな“Lady Margaret”, “She Moved thro’ the Fair”, “Blackwaterside”ほか全 13 曲。2000 作。Seventh Wave)
- *IAN A ANDERSON:Time Is Ripe a
 (Village Thingレコード 40 周年を記念して発売された現 fRoots 誌編集長で Village Thing の創設者の Ian の Village Thing 時代の 70 年、71 年、72 年作の三枚から 17 曲と未発表音源からの 3 曲の 20 曲収録編集 CD。Wizz Jones の諸作に匹敵する 70 年代ブリティッシュ・フォーク/ギター・ファンは必聴の名作。w. Hunt&Turner, Mike Cooper, Maggie Holland, etc. 2010 作。Weekend Beatnik)
- *THE INCREDIBLE STRING BAND:Their First Album B
 (Robin Williamson&Mike Heron による ISB の 67 年作。デジパック{紙ジャケット}。67/2010 作。Fledg’ling)
- *JULIE FELIX:Cloth’s Web B
 (1972 年作に 6 曲のボーナス曲入りの全 18 曲。99 作。Red Fox)
- *ROBIN WILLIAMSON & HIS MERRY BAND:Journey’s Edge B
 (1975 年録音の未発表音源 10トラックを加えた計 21トラックで再発。Merry Band は 1975 年に Robin が憧れのアメリカの地で結成したバンドでメンバーは Sylvia Woods {ハーフ、ハーフ・スコート、ヴォーカル}, Chris Caswell {ハーフ、フルート、アコ、ヴォーカル}, Jerry McMillan {フイドル、ヴォーカル}。数多くの Robin の諸作の中で最もケルティックで初々しい。2008 作。Fledg’ling)
- *IAIN MATTHEWS:Orphans & Outcasts Volume 1 – 1969–1979 D
 (副題“A Collection Of Demos”。1991 作。Dirty Linen)
- *PLAINSONG:Dark Side Of The Room(97 作。ドイツLine) A
- *TUDOR LODGE:Tudor Lodge B
 (Digipak {紙ジャケット}仕様。71/2007 作。Repertoire)
- *FORMARY FAT HARRY:Goodbye For Good B
 (副題“The Lost Recordings 1969–72”。Country Joe&The Fish のベース奏者だった Bruce Barthol がカリフォルニアから二人の友人を呼び寄せイギリスで結成したブリティッシュ・フォーク・ロック・バンドの未発表音源集。全 12 トラック。P16 のブックレット付。2008 作。Hux)
- *VASHTI BUNYAN:Some Things Just Stick In Your Mind C
 (ハードカバー特製見開き紙ジャケットで全 25トラック収録の 2 枚組。副題“Singles and Demos 1964–1967”。1964 年から 67 年収録のシングル盤音源 4 トラックとシングル盤未発表音源 3 トラックと多数の未発表デモテープ音源等からの編集盤。P24 のブックレット付。2007 作。Fatcat)

- *RALPH McTELL:The Definitive Collection ¥1880
(R. McTell のシングル盤音源の“Street Of London”を含む 16トラック収録の編集 CD。2007 作。Highpoint)
- *ROBIN WILLIAMSON:The Island Of The Strong Door ¥1050
(95 作。Pig's Whisker Music)
- *DAYLIGHT:Daylight A
(Mike Silver と Chrissie Quayle がリード・ヴォーカルのブリティッシュ・フォーク・グループ。これほど鮮度の高いフォーク・ロック・バンドは英国にも米国にも見付けるのが難しい。Produced by Tony Cox。71 作。Hugo-Montes)
- *MCGUINNESS FLINT:The Original B
(原題“McGuinness Flint”。デビュー作。1970 作。EMI)
- *LYLE MCGUINNESS BAND:Elise, Elise (1997 作。Diamond) C
- *MARIE LITTLE:Factory Girl B
(71 年 Argo から発売された M. Little のデビュー作。{LP の場合は}A 面に収録の 6 曲がトラッド調で B 面に収録の 6 曲がフォーク〜ブルース調。70 年代初期のブリティッシュ・トラッドの芳香香る名盤。w. Robin&Barry Dransfield, Smiley, Dave Moses, Billie Page。71/2007 作。Smartweed)
- *PENTANGLING “The Collection” D
(Pentangle{17 曲}、John Renbourn{22 曲}、Bert Jansch{22 曲}の計 61 曲入 3 枚組セット。2004 作。Sanctuary)
- *PENTANGLE:Cruel Sister a
(リマスター。70/2001 作。Sanctuary)
- *PENTANGLE:Think Of Tomorrow (91 作。トイ Hypertention) B
- *JOHN RENBOURN:Ship Of Fools B
(J. R., Maggie Boyle, Steve Tilston, Tony Roberts の実質的 J. Renbourn Group の 88 年作。88/2005 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN:John Renbourn a
(65 年のデビュー作。未発表曲 3 曲入りリマスター。詳細解説付。2001 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN:Black Balloon (79/2005 作。Sanctuary) a
- *JOHN RENBOURN GROUP:Enchanted Garden a
(80/2005 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN:The Nine Maidens (85/2005 作。Sanctuary) a
- *PETER KIRTLEY:Peter Kirtley B
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年のソロ。w. Bert Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. ブルースやジャズの要素もあるオリジナルなフォーク・ロック。92 作。トイ Hypertension)
- *PEOPLE ON THE HIGHWAY “A Bert Jansch Encomium” A
(B. Janschトリビュート盤 2 枚組。Polly Bolton, Maggie Boyle, Donovan, Martin Jenkins, Wizz Jones, Eleanor McEvoy, Ralph McTell, Rab Noakes, Kelly Joe Phelps, Chris Smither, Al Stewart, Steve Tilston, Brooks Williams and more! 全 26 曲。2000 作。Market Square)
- *BERT JANSCH:Birthday Blues A
(2 曲ボーナス付。詳細解説付。69/2001 作。Sanctuary)
- *BERT JANSCH:Moonshine (73 作。Sanctuary) a

- *BERT JANSCH:The Ornament Tree(90作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH:From The Outside a
(紛失曲“I Sure Wanna Know”を収録し、新たにCD再発。93/2001作。Sanctuary)
- *BERT JANSCH:Live At The 12 Bar(96作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH:Downunder a
(ギターも冴えて Bertらしいギターの弾き語り中心のライブ。全15曲。98年録音。2001作。Castle Music)
- *BERT JANSCH:Crimson Moon(2000作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH:The River Sessions B
(74年11月グラスゴーのCity Hallでのライブ。74/2004作。River)
- *BERT JANSCH:Dazzling Stranger a
(アンソロジー-20曲入編集2枚組。2000作。Sanctuary)
- *HENRY McCULLOUGH:Cut B
(1978~83年の未発表音源集。全15トラック。87作。Line)
- *IAN GOMM:Rock'n'Roll Heart(2001作。Gommsongs) A
- *CHAS&DAVE:From Tottenham To Tennessee A
(Chas&DaveとJoe Banglesが選曲した79年から91年の音源からの39曲収録の2枚組。Chas&Dave独特な二流のセンスが随所に散りばめられた最高のパフ・ロック。これ一枚で彼等のアブラの乗った時代の音楽はたっぷり楽しめる。2006作。Music Club)
- *CHAS' N' DAVE:Street Party a
(ノンストップ!パフ・ロック・オンパレードの50曲入。2003作。Pickwick)
- *ROD STEWART:Trilogy B
(“A Night On The Town”, “Tonight I'm Yours”, “Atlantic Crossing”のハードカバー3枚組セット。2006作。WEA)
- *DONOVAN:Greatest Hits Live B
(1986年、バンクーバーでのライブ+ボーナス曲3曲+未発表音源曲1曲の計18曲。2001作。Varese Sarabande)
- *SALLY'S FRIENDS:Boys Of The Town B
(アイリッシュ系フォーク・デュオのSally's Friend~Chris Ward [ヴォーカル、ギター]とPete Onions [ヴォーカル、マンドリン、ギター]の79年作。Chris&Peteのシンギングは70年代ブリティッシュ・フォークの香りが高く、きりっとして温か。Kissing Spell)
- *STONE ANGEL:East Of The Sun B
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2001作。Kissing Spell)
- *STONE ANGEL:Lonely Waters B
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2004作。Kissing Spell)
- *JAN DUKES DE GREY:Mice And Rats In The Loft A
(Jan Dukesの71作。71/2004作。Breathless)
- *DAVE WAITE&MARIANNE SEGAL:Paper Flowers C
(伝説のフォーク・ロック・バンド JadeのDave&MarianneがJade結成前まで活動していた時代の未発表曲集。録音は全22曲入。1967~70年。P12のブックレット付。2004作。Lightning Tree)
- *CAT STEVENS:Matthew&Son a
(CDでは未発表のボーナス曲8曲付の計22曲入。67/2003作。Deram)

- *CAT STEVENS:Tea For The Tillerman a
 ("Wild World", "Father And Sun"を含む全 11 曲。70 作。Universal
 Island)
- *JEFF BECK:Blow By Blow/Wired(2 CDセット。Sony) C
- *KILBURN AND THE HIGH-ROADS:Handsome A
 (ご存知 Ian Dury が在籍したパブ・ロック・バンドの 75 年作が 3 曲の未発
 表音源ボーナス曲入りで CD 復刻。全 18 曲。諧謔的センスと職人ワザ的ロック・
 ロール魂と魔法仕掛けのセンスのあるロックは「パブ・ロック」の範疇を飛び出
 している。これは大衆娯楽ロックだ。Chas&Dave も真っ青。75/99/2004
 作。Dawn/Castle)
- *FOOTPRINTS IN THE SNOW A
 (副題"An Anthology Of The British Singer・Songwriter Genre
 1965-1974"。44 曲収録 2 枚組。Donovan, Bert Jansch, Owen Hand,
 Billy Nicholls, Ralph McTell, Billy Connolly, Alan Hull,
 Shelagh McDonald, Gerry Rafferty, Steve Tilston, Richard
 Digance, Dave Cartwright, Alan Price and more。2004 作。
 Sanctuary)
- *TREES:The Garden Of Jane Delawney A
 (70 年代ブリティッシュ・フォークの名盤。70 作。Rewind/Columbia)
- *AL STEWART:Orange(72 作。ミレニアム特別仕様。Columbia) A
- *FROGMORTON:At Last D
 (幻のアルバムの CD 復刻。Frogmorton は Young Tradition からの影響大
 の紅一点の Lucy Sharpe を含む 7 人組トラッド・グループ。Young
 Tradition 風ヴォーカル・ハーモニーを核に青春フォークから Lindisfarne 的庶
 民フォーク・ロック的なものまで幅広い「フォーク」を展開する。76 作。2002 再発。
 Elegy)
- *CHRIS THOMPSON:Chris Thompson B
 (73 年作が 3 曲のボーナス付で、CD 復刻。ニュージブラルト人だがここで。理
 想のギター弾き語りの 70 年代ブリティッシュ・フォーク。2001 作。Scenescof)
- *MICK GREENWOOD:Midnight Dreamer A
 (74 年の 3 枚目。w. Pat Donaldson, Gerry Conway, William a
 Murray, Barry de Souza。Voiceprint)
- *DULCIMER:When A Child C
 (純真無垢で英国趣味な最良の 70 年代ブリティッシュ・フォークの芳香いっば
 いの Peter Hodge&David Eaves の Dulcimer の 93 年作。夢見気分保
 証。不老の Dulcimer。ブリティッシュ・フォーク・ファンの宝物。93 作。President)
- *SYNANTHESIA:Synanthesia D
 (Dennis Homes, Jimmy Fraser, Leslie Cook の三人組ブリティッシ
 ュ・フォーク・グループ。アコースティック・ギターやフルートや
 オーボエやヴィブラフォンの浮遊感のある不思議なサウンド、そ
 して夢見心地なヴォーカル。Donovan っぽさを感じる September
 Production 産ブリティッシュ・フォークの名盤。1969 作。1990 年再
 発。Elegy)